

第 1 号報告

けいはんな学研都市(京都府域) 地域公共交通計画

策定に向けた取り組み趣旨

精華町副町長
岩橋 威夫

今、なぜ、学研都市の公共交通なのか

- 道路交通の目覚ましい発展。
- 一方、公共交通については、JR片町線とJR奈良線は、学研都市の区域に入ったとたんに、単線。
- 京阪奈新線は、学研都市京都府域の手前で止まったまま。
- バス交通では、区域内では市町の行政界をまたがるバス路線が発達しておらず、クラスター間接続が不十分。

学研都市の転換点

- 一時期、大幅に停滞していたクラスター開発も、ここに来て、向こう10年で、面整備全体の概成を見通せる地点に立とうとしている。
- リニア中央新幹線や北陸新幹線の整備による、新たな鉄道ネットワークの構築への期待。

まとめ

- 学研都市の都市建設の長い歴史の中で、公共交通に関する総合的な検討は、初めての取り組み。
- 本計画策定の過程の中で、学研都市建設概成を見据えた学研都市の公共交通の将来像と具体的な方策を明らかにしていきたい。